

幼児の衛生

麴町小學校長 土川五郎

晩近學校衛生が、進歩、否寧ろ一變して、在來のものとは、全く其立脚地を更へたのは、教育者の最も注目すべき一事であると思ふ。

従來は學校衛生なるものは、國民の體力増進、即保健といふ輪廓の一隅に、小さき部分を占めて居て、教育者と校醫とで、通氣、通風、採光とか、身體検査とか、例に依て、例の如く、平々凡々であつた。併し國民の保健といふ側が、科學の進むにつれて進歩し、學校衛生も亦現在の如き有様では、勞多くして益なきを悟つて來た結果は之を根底から覆して、

幼児時代(幼稚園時代)小學兒童の健康を増進せしむることが、國民保健の最良策であつて、之を中心として、輪廓を描く可きであると云ふ事にな

つて來た。即ち今迄一隅に置かれたるものが、中心と變じたのである。即ち學校衛生の主義が、變つて來たと云つてもよいのである。翻て在來の身體検査を考へて見ると、身長、體重、胸圍を計り、眼疾、耳疾、喉頭其他に於ける異狀を診査し、體格の強中弱を定めたが其影響をどれだけ學校や幼稚園が受けて、兒童幼兒をどれほど益したか、家庭の反省を如何程迄促し得たか、幼稚園によつては、毎月検査して、統計を作り、家庭に通知して居る所もある。其骨折りは實に大であるが、其效果は割合に尠いではなからうか。

學校衛生が國民保健の中心となり國民が身體を發達せしむるに、必ず此關門を通る。國民保健の鍵は、學校衛生が握ると云ふ重大なる意味が含ま

れるとすれば、從來の身體検査や、消極的衛生の設備と作業では、満足が出来ないのである。殊に幼稚園は、最も發育に留意せねばならぬとすれば、層一層の改善を要する。聞く所によれば、文部省が學校衛生を改良する目的で、委員を擧げて、着着歩を進めらるゝといふ事である。吾人は其改善せられたる新規則の頒布に先きんじて研究し、幼兒の爲めに良いと信じた點は、片端しから實行することは、幼兒の爲めに、幸福であらうと思ふ。

一體質。重に内臓の疾患、即ち肺、心臟、消化器等の健、不健を診査して、其傳染性のもものは、在園せしむることの出来ないのは勿論であるが、健全なるものと、疾患に捕はれ易き素質あるものとを區分して、平素に於て適當なる措置を取らねば、將來取り返しのつかぬ事が出来るし、又相當の運動と遊戯とに依るも、益健全に育てることは出来ないと思ふ。

二精神的變質。言語の障害や、頭部半側の頭痛

等の身體的變質は別として、精神の變質は實に看過すべからざるものである、虚言を吐く、人前を飾る、虚榮心に富むといふ如き。ふさぎ勝ちのもの、怒り易いもの、啼泣し易きもの、此等は吾人が一の性癖とし、氣質の上より起れる一の現象として、取扱つて居た。しかし此等のもの、内には、近頃の進歩したる精神分折學(醫學上の)より見て、一のヒステリー症と決せらるゝものが意外に多く、尙神經衰弱症、憂鬱症の如き(睡眠時間の不足、營養不良より起る)傳染病後に起る心身過勞より生ずる症狀の如き、幼兒に比較的多きを占むといふことは國家の爲め、憂慮すべきものである。此等の幼兒に對しては適當なる指導をして、尙功果の出でない場合には、須く醫師と協力して、精神狀態の検査、教育的治療及び醫學的療法をとらねばならぬ、即精神的性格の異常(精神の低格)、知識の異常(精神薄弱)の那邊にあるやを調査し、適當の處置を取らねばならぬ。斯くして幼兒の身

體を決定し、健康兒に對しては、積極的體育の法を遊びの間に配劑し、疾患を受け易き素質あるものは、又其缺陷を補ふことに努め、幼兒全體としては永く耐へしむべき運動をなさしむるものと僅に其一部をなさしむるものと其體質によりて、加減することが極めて必要と思ふ。

又幼兒の喜んで爲す遊戯につきても、身體の各部に涉りて均等に運動せしめねばならぬ。時に體の上部のみに偏し、或は脚部のみに傾く弊があることに留意せねばならぬ。

消極的衛生も亦看過す可らざるものがある。清潔を保ち、傳染を防ぎ、空氣の流通、採光、溫度等も又必要であるが、幼兒を神經過敏にし、恐怖せしむることは、最も慎むべきことで、幼兒はどこ迄も無邪氣に嬉けて、両親と保姆とが細心の注意を拂ふべきである、先づ今回はこれで擱筆するが、終りに此稿を起すに當り、石原醫學士の講演を参照したることを附記して、同氏に謝意を表して置く。

○本誌發行日の變更

本誌はこれまで毎月五日に發行して來ましたが都合により本號及び本號以下の本誌は毎月一日に發行することに改定いたしました。

○南の窓より

俺はこの頃興味といふやうな安っぽい言葉で現される貧弱な悦びを慢性自己欺瞞に過ぎないと思ふまでにつきつめた心持になつて居る。俺は多くの興味が、對象として無價値に等しい場合が多いにも拘らず、興味を味ふべく準備された心の型に逸早く適應して行くために、實價以上に買取られて平氣な顔をして居る狡猾さを發見した。

卑い興味をついくり合せて、生活の空隙を填充しやうとする精神的浮浪人の努力の果敢なさよ。

マントルピースの上に置かれた福壽草の不調和を嘲罵して、小さな痛快を味ふのは、神經過敏な低級興味追求者の事である。俺は直ちに福壽草の呼吸を感じる。淺みどりの葉と黄の花びらに俺の魂の緊張が適度に弛められることを感ずる。俺は小さい一個の生命と向ひ合つて居ることを感ずる。

自然に歸れ！ 而して汝自身に歸れ！ (孝一耶)